

◆活動団体

団体名：一般社団法人 隠岐ジオパーク推進機構

連絡先：推進機構事務局（TEL:08512-2-1577 メール：info@oki-geopark.jp）

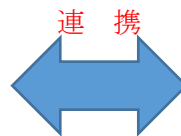
◆活動内容

ユネスコ世界ジオパークに認定されている隠岐諸島の魅力を分かりやすく伝えるために、隠岐諸島の形成過程を示す「大地の成り立ち」、北方系、南方系の植物が共存する「独自の生態系」、古代からつづく「人の営み」の3つの要素に分けて伝えるとともに、貴重な地域資源の保全と活用による地域振興・観光振興・教育振興を図り、隠岐の人々が「誇りと愛情を持って隠岐を語り伝える」地域づくりを目的としており、学校教育、社会教育の推進、観光事業者との連携によるガイドなどの人材育成、国内外に向けた誘客促進活動を行っている。

○隠岐観光協会との合併

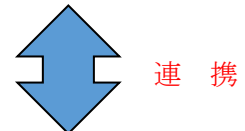
ジオパークを基盤とした観光による地域づくりを目指し、隠岐4島の観光を統括する隠岐観光協会と合併し、一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構に組織名称を変更した。観光庁が認定する観光地域づくり法人（DMO）としても認定される。

（一社）隠岐ユネスコ  
世界ジオパーク推進協議会  
※地域資源を活用した  
ジオパーク活動の推進



隠岐観光協会  
・隠岐4島の観光協会を統括  
・旅行事業者対応

観光地域づくり法人（DMO）  
※2021年3月：候補法人登録  
※2021年11月：登録法人認定



（一社）隠岐の島町観光協会  
（一社）西ノ島町観光協会  
（一社）海士町観光協会  
知夫里島観光協会

2022年4月1日に合併

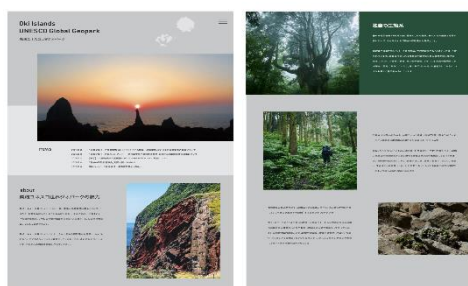
（一社）隠岐ジオパーク推進機構  
※ジオパークを基盤とした観光地域づくり  
※探求心の強い人向けの特化した商品づくり

R4年度

## ○ブランディング事業

今までの「景勝地観光」から、ジオツーリズム・サステナブルツーリズムの方向への転換を進めるべく、重厚感がありシンプルにありのままの隠岐の美しさを伝えられる写真の撮影を4回に渡って実施した。また、単なる風景の撮影にとどまらず、写真によっては人の写り込みを入れ、「こんな絶景に自分も行きたい（行かれるのか）」と思わせる仕掛けも施している。

隠岐のトーン（ベースカラー）（webイメージ）



## ○ネットワーク事業

ユネスコ世界ジオパーク再認定審査

【前回(2017)の指摘事項一例】

展示施設の整備・サイト看板の改善・地質遺産の教育促進

【行程】

9/4 概要説明

9/5 サイト・施設視察、ガイド・旅行事業者との意見交換（隠岐の島町）

9/6 高校・ホテル・観光協会・環境省らとの意見交換（海士町・西ノ島町）

9/7 サイト視察（知夫村）高校との意見交換、囲み取材（隠岐の島町）

9/8 審査書類チェック、事務局との意見交換

【審査結果】

12/16 再認定（グリーンカード）

年度明けに指摘事項とともに正式通達予定

- ・前回の指摘事項は概ね解消
- ・高校での取り組みが特に好評価



高校での活動視察



サイト視察

### ○教育推進事業（隠岐体験事業）

新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため現地開催を中止し、10月上旬に代替イベントとしてオンラインでの体験学習を2回実施した。

現地参加予定だった72名の子どもを対象に再度参加案内を行い、31名の申し込みがあり当日は29名が参加した。

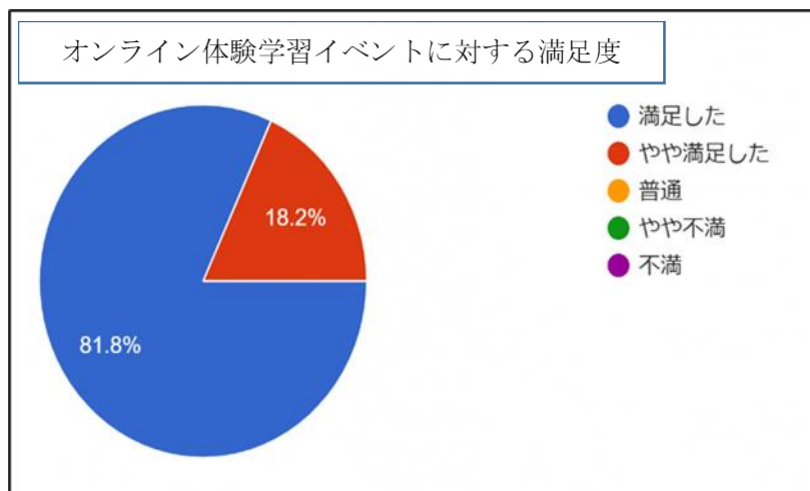
参加した子どもたちは隠岐で体験ができなかったが、オンラインイベントの内容はとても楽しかった

等の感想が多く、イベントの満足度は高い結果となった。

（実施後のアンケート結果より）



R4年度



### ○誘客促進事業

#### ・企画乗船券造成事業

観光客・地元事業者ともに好評のR2年度からR3年度にかけて実施した企画乗船券「おき得乗船券」の企画・販売・宣伝。

R4年度からインバウンド対応のため、英語版WEBサイトを作成した。

#### 【実施期間】

令和4年4月1日～令和5年3月31日

#### 【販売目標数】

6,000枚※国費対象の2月末まで

#### 【実績】

8月末で予約含め6,000枚に到達したため、販売枚数上限を7,000枚に増やした。

・実売数：6,969枚（1月末時点）



・電子クーポン発行事業

スタンプラリー形式で1泊及び1観光体験で1回あたり5,000円のクーポンが電子でもらえる仕組みで、付与されたクーポンは島内の飲食店や土産店などの登録店舗で使える。

【実施期間】

令和4年10月1日～令和5年2月28日

【目標配布数】

2,800人泊

【実績】

1,939人泊（1月末時点）

【参加加盟店数】

スタンプラリー（観光）：53体験

スタンプラリー（宿泊）：28施設

決裁加盟店：70店舗



・インバウンド対策事業

①インバウンドを取り扱う旅行会社向けプロモーション

7月より隠岐の認知度を上げるためにオンラインセミナーを2回行い、ターゲットである地域（欧米豪）から旅行会社を招へいし、28社が参加。

特に隠岐に興味を持った会社と別途の協議を行った。

②「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート 2022」に参加し、18社と商談。

アウトドア、環境に配慮したツアーを造成している会社に注目。

③在留外国人向けプロモーション

コロナ禍で、国内マーケットに目を向け、在留外国人に人気のある雑誌「Tokyo Weekender」の島特集に隠岐の記事を掲載。





・看板商品創出事業

取組 1：独自の神話伝説を専門ガイドと共にジオパークで紐解く神社仏閣巡り体験。背景にある島の成り立ちや人の営みを交えて、専門ガイドと共に巡り解説



取組 2：海士町独自の人の営みが創り出す超ローカル体験

大人の島留学制度や離島ワーキングホリデー等の取組に代表される「人」との交流

取組 3：ジオガイドと楽しむエコキャンプ（西ノ島町）

自然との共生を意識した学びを得られるキャンププログラムを造成



取組 4：隠岐で「ととのう」ジオパークトレイル&ジオサウナ（知夫村）

島の地層に起因する独特な水質の湧き水や、島内での廃材や流木を利用



取組 5：隠岐松葉蟹と日本酒で楽しむ、ゆっくりお宿滞在オールインクルーシブプラン。宿泊費や飲食費などの諸経費を全て含めたオールインクルーシブ形式

取組 6：インバウンド対応のジオパーク拠点施設発着のガイドツアー

世界ユネスコジオパークに認定された隠岐を島の玄関口であるフェリー乗り場で紹介

○着地整備事業

・ガイド活用計画策定

地域内の 18 名のガイドにヒアリングを行った。現在ヒアリング結果をもとにガイド活用計画を策定中。また顧客との適切なマッチングを図ることを目的としたガイド紹介 WEB ページを作成中。



ガイド体験及びヒアリング

○学術研究事業

①ハマナスの遺伝子解析および保全活動

- ・春～夏の開花時期に合わせて野外調査および試料採取
- ・島根大学の研究者に委託し遺伝子解析
- ・布施地区の小学生らを対象に学習会と清掃活動を開催
- ・大田市の自生地を視察し関係者と協議

【評価】

- ・保全だけでなく、子どもたちへの学習・体験機会の提供を創出できた
- ・公民館・教育委員会・環境省・地域住民らと連携によるイベント内容の充実

②ミズナラの生育調査

- ・野外調査を実施し、生育環境調査や種子採取の実施
- ・温湿度データなどと照合し、保全の基礎資料として活用



（仮） 布施の自然を再発見♪ 企画

イチョウや  
流木アートに  
挑戦!

ハマナスを  
さつぷ!

春日の浦で  
秋を感じるふるさと体験

9月17日(土) 天候不良時は中止

★集合場所：ボレスト下または直接春日の浦の浜(会場)  
駐車場にお越しの方は芝刈り機や草刈り機などをご利用ください。

★内 容：13:45 ボレスト下集合・会場へ移動  
→ 14:00 随時減少している貴重なハマナスについて  
学習後、海岸をきれいにしましょう  
→ 14:30 流木ひろい  
→ 14:45 さんばしへ移動  
→ 15:00 交代でアオリイカを釣ったり 釣り堀  
ひろった流木を使って工作をします

★対 象：布施・中村地区の小中高生、保護者等地域の方々とな  
たても大歓迎♪多数の皆さまのご参加をお待ちしています!

★申込み切：9月14日(水) (先着18名)

★持ってくるもの：軍手、タオル ※ゴミ拾いの時は運動靴推奨。

★主 催：布施地区有志の皆さん

★協 賛：ジオパーク推進機構、布施地区漁師会  
布施支所、布施公民館

★申込み・問合せ先：布施公民館 TEL 7-4314  
※コロナの感染状況によっては中止となる場合もあります。ご了承ください。